

令和7年度

博物館だより

令和6(2024)年度の活動

令和7(2025). 7

第30号

新潟市北区郷土博物館

〒950-3322

新潟市北区嘉山3452

TEL 025-386-1081

FAX 025-388-6290

museum.n@city.niigata.lg.jp



「お頭大集結」でのひとこま 内沼の獅子舞のお頭をかぶせてもらう子ども

北区伝統芸能フェスティバル

神楽、太鼓、盆踊りなどの郷土芸能は、新潟市北区に数多く伝わっています。300年以上前から受け継がれてきたものや戦後に創作されて根付いたもの、由来や伝承はさまざまですがいずれの郷土芸能も地域の歴史、風土、信仰、人々の生活に根差した文化表現であり、貴重な文化遺産です。

令和6年度の特色ある区づくり事業として11月に「郷土芸能フェスティバル」を新潟市北区文化会館で開催し、多くの市民にご来場いただき、郷土芸能の魅力に触れていただくことができました。

有形、無形にかかわらず文化財を保護し次世代に引き継いでいくことは当館にとって大切な役割です。多くの郷土芸能では担い手不足の問題を抱えていますが、こうした公演をとおして多くの市民が郷土芸能に興味を持ち、地域での活動を応援し、参加していただくきっかけになればと思います。

今後も郷土芸能をはじめとした伝統文化を未来へつなぐため様々な取り組みを行い、実践的な文化の拠点となるよう努めていきたいと考えています。

新潟市北区郷土博物館 館長 伊藤 健

令和7(2025)年度の事業計画

展 示

◆常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」

考古・歴史・民俗・芸術(書)

◆企画展及び関連事業

① 蔵出し!! 北区ゆかりの文化財展

会期: R6.2/8(土)~5/6(火・休)

地域の歴史・文化を伝える北区ゆかりの指定文化財・登録文化財を当館収蔵庫から蔵出し展示する。

【バス見学会】「北区の文化財を見に行こう!」4/13(日)

講師: 曾部珠世学芸員

【講演会】「新潟市の文化財について」4/29(火・祝)

講師: 田部彩菜氏(市歴史文化課)

② 所蔵美術作品からみる夏

ー美術作品を通して夏を感じてみませんかー

会期: 5/17(土)~6/29(日)

「夏」をテーマに、「木々の緑」「夏休み」「水へのまなざし」のキーワードで所蔵品を紹介する。

【こどものための作品鑑賞会】5/25(日)

講師: 大野瑞穂学芸員

【美術講座】「夏と絵画表現」6/8(日)

講師: 永吉秀司氏

(日本美術院特待・新潟大学准教授)

③ 戦後80年 このまちの人々と戦争

会期: 7/19(土)~8/31(日)

1945年の終戦から80年にあたり、出征兵士の姿や戦後の暮らしなど戦時下の人々について収蔵資料を中心に紹介する。

【歴史講座】「展示資料を読み解くー沖縄戦を生き延びた

兵士が持ち帰った文書からー」8/11(月・祝)

講師: 曾部珠世学芸員

【展示解説会】7/21(月・祝)・8/30(土)

④ 第3回 新潟市北区こども作品展 (主催 新潟市北区)

会期: 9/20(土)~10/13(月・祝)

新潟市北区の小学生が夏休みに取り組んだ創意と工夫に富んだ自由研究や作品を展示。会期中に当館市民ボランティアによる親子で楽しめる企画を実施。

【ボランティア企画ワークショップ】9/23(火・祝)

⑤ 美術を味わうレシビ展

会期: 10/25(土)~12/21(日)

所蔵作品を中心に、さまざまな種類や形態の美術作品を“味わう”コツを紹介する。

【作品鑑賞会】10/26(日)、12/14(日) 講師: 大森慎子学芸員

【講座】「美術品の取扱い」11/9(日) 講師: 本井晴信氏

(元新潟県立文書副館長)

【体験】「からくり屏風づくり」11/24(月・休) 講師: 大森学芸員

⑥ 昔の暮らし展(仮称)

会期: R8.1/10(土)~5/6(水・休)

当館収蔵の民俗資料(昭和の頃までに使われた道具)や写真などから、昔の人々の暮らしのようすを紹介する。

収集・保存・調査研究

◆所蔵資料の保管・整理

・歴史、民俗、美術資料の整理作業 ・くん蒸処理

◆郷土資料収蔵庫管理

・環境整備 ・虫の侵入防止 ・空調管理 ・くん蒸処理

◆寄贈資料の受入れ

◆刊行物等制作

教育普及

◆博物館講座

① 講演会「新潟市の文化財について」(再掲)

開催日: 4/29(火・祝) 講師: 田部彩菜氏(市歴史文化課)

② 美術講座「夏と絵画表現」(再掲)

開催日: 6/8(日) 講師: 永吉秀司氏

(日本美術院特待・新潟大学准教授)

③ 歴史講座「展示資料を読み解く」(再掲)

開催日: 8/11(月・祝) 講師: 曾部珠世学芸員

◆特別講演会

弦巻松蔭没後30年「書は人なり-弦巻松蔭の人と作品と-」

開催日: 6/22(日) 講師: 佐藤奎玉氏(書家)

◆体験教室

① 手織り体験 オリジナルの布を作ってみよう!

開催日: 7/26(土)、8/2(土) 講師: 葛塚綺手織りの会

② フラ細工体験 ナベシキを作ってみよう!

開催日: 8/17(日)、9/21(日) 講師: 当館市民ボランティア

◆ふるさと学習

学校・地域と連携し、資料紹介や展示見学対応、出前授業を行う。

・電化製品普及以前の暮らしを、館蔵生活道具で紹介。小学校3年生の社会科授業に対応。

・福島潟干拓の歴史を紹介。小学校4年生の授業に対応。

◆博物館実習、職場体験等の受け入れ

・博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

期間: 8/15~11/3のうち7日間

・中学生の職場体験の受け入れ

葛塚中学校2年生3名

期間: 5/9(金)

◆レファレンス

・市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、関連図書閲覧対応

・他の博物館や大学など研究機関への協力

市民ボランティア

◆常設展示ガイド 団体見学等における常設展示案内

◆体験教室講師 フラ細工体験、ボランティア企画

◆定例会・研修会 情報交換やスキルアップを実施

◆新規募集 11~12月募集、R8.2月~研修予定

北区の文化財（指定文化財ほか）関連

◆調査整理 所蔵品整理

◆公開活用

- ・当館所蔵指定文化財の公開（常設展示・企画展示）
- ・北区の郷土芸能公演
11/2（日）・3（月・祝） 会場：葛塚東小学校体育館
- ・葛塚縞手織り伝承活動
「葛塚縞手織りの会」による実演 毎週土曜午後
- ・文化財等説明板の修繕

◆保護育成

県指定・市指定天然記念物などに関する対応

特色ある区づくり事業「北区郷土博物館 地域魅力発信事業」

令和5～6年度で葛塚縞常設コーナー整備充実、葛塚縞関連講演会、葛塚縞手織り出張実演、郷土芸能の実演を行った。
7年度は葛塚縞の図録制作及び手織り技術伝承講座を実施。

◆葛塚縞手織りに関する図録の作成

長年受け継がれた手織りの工程とその技術を未来に継承するため、画像と解説による図録を作成する。また、動画をDVD等に記録して図録の付録にする。

◆葛塚縞手織り技術伝承講座 全8回

開催日：①9/13、②9/20、③9/27・10/4、④10/11、

⑤10/18・25、⑥11/1・8、⑦11/15・22、⑧11/29（各土曜日）

講師：葛塚縞手織りの会 募集：8名

新潟市北区特色ある区づくり事業「北区郷土博物館 地域魅力発信事業」

令和7年度の取組み

令和5～7年度北区が取り組む「特色ある区づくり事業」の一環として、当館では「地域魅力発信事業」を掲げて取り組んでいます。令和3年度の分館「横井の丘ふるさと資料館」の閉館に伴い、5年度には、ここで展示していた資料を活用し、新たに『葛塚縞』の常設展示コーナーを設けました。さらに国内でも稀有の貴重な活動をされている葛塚縞手織りの会のみなさんにご協力いただき、定期的に実演、手織り体験も行っていました。

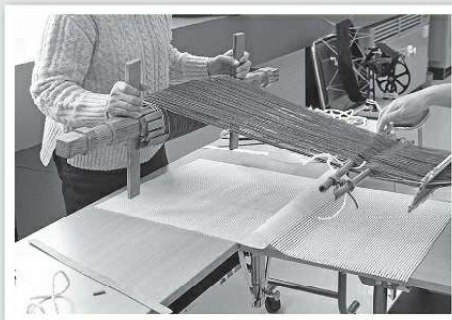
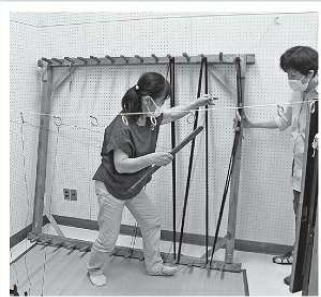
昨年度はさらに北区の歴史・文化を広める活動として館外にて葛塚縞手織り実演を行い、また北区文化会館において郷土芸能公演を行い、多くの皆様の興味関心を得ることができました。これらの手応えも感じつつ、今年度は将来を見据えた『葛塚縞』手織りの記録保存と、後継者育成のための講座を行います。さらなる北区の魅力を次代に向けて発信する礎となることでしょう。

葛塚縞手織りに関する図録の作成

葛塚縞手織りの会の活動の全工程を記録し、解説を付けた図録を作成。また、動画はDVD等にして付録にする。

葛塚縞手織り技術伝承講座（全8回） 9月13日（土）～11月29日（土）

葛塚縞手織りの会の指導により、受講者に手織りの工程を8回で体験してもらう。



展示事業

◇常設展示

常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」

考古・歴史・民俗・芸術(書)

●入館者数 7,312人

◇企画展及び関連事業

① 常設展拡大企画 葛塚縞展

会期：R 6.1/4(木)～5/6(月・休)：106日間

かつて町の主要産業だった木綿織物 葛塚縞について関連資料から紹介。

[展示点数] 41点(文書、民俗資料、写真)

●入館者数 2,444人(4/1～5/6は 908人)

●展示解説会 4/7(日)・21(日)

講師：曾部珠世学芸員 参加者15人

●体験「手織り体験」 4/6・13・20・27・5/4(土)

講師：葛塚縞手織りの会 参加者29人

●関連講演会「越後の木綿をめぐって」6/1(土)

講師：陳 玲氏(新潟県立歴史博物館専門研究員) 参加者23人

② 新潟地震から60年 災害の記録をたどる写真展

会期：5/25(土)～6/30(日)：32日間

1964年に発生した新潟地震、1966年と1967年の2年連続の大水害など、これまでにみまわれた災害を記録写真などで紹介。

[展示点数] 105点(写真、映像ほか)

●入館者数 1,744人

●関連講演会「新潟地震から60年 いま災害を考える」

6/16(日) 講師：伊藤 健(当館館長) 参加者32人



「災害の記録をたどる写真展」会場風景

③ 夏休み企画「書をみる-弦巻松蔭と上田桑鳩の作品-」

会期：7/13(土)～8/25(日)：38日間

二人の作家の自由な表現を楽しみつつ、書芸術の魅力を探る企画展。対話形式による作品鑑賞会を実施。

[展示点数] 15点(書)

●入館者数 882人



「書をみる」展作品鑑賞会

●作品鑑賞会

8/4(日) 講師：神田直子氏(前当館学芸員) 参加者22人

8/11(日) 講師：大野瑞穂学芸員 参加者3人

●関連講座「アートを楽しむ-弦巻松蔭と上田桑鳩の書作品を中心に」

6/30(日) 講師：神田直子氏(前当館学芸員) 参加者 27人

④ 第2回 新潟市北区こども作品展

会期：9/21(土)～10/20(日)：26日間



「新潟市北区こども作品展」会場風景

新潟市北区の小学生が夏休みに取り組んだ創意工夫、探求心にあふれる作品や自由研究を募集し、出品全作品を展示した。審査の結果、最優秀賞3人・優秀賞17人を選出。

[主催] 新潟市北区 [対象] 新潟市北区内の小学生

[審査員] 川又由香(岡方第一小学校長) /

山本政義(北区教育支援センター 指導主事) /

丸山寛(北区長) / 伊藤健(当館館長)

[表彰式] 10/19(土)受賞者17人とその家族47人参加

[出品点数] 184点

《内訳：1・2年生の部57点/3・4年生の部74点/

5・6年生の部53点》

●入館者数 956人

●参加校 区内小学校 9校

⑤ 北区の郷土芸能公演関連展示 北区の神楽・獅子舞の写真展

会期：10/24(木)～11/8(金)：14日間

北区の神楽・獅子舞(休止中も含む28団体)の由来とその写真を展示し、郷土芸能が多く伝わる北区を紹介した。あわせて、北区在住の高山潔氏撮影の市内(北区外)の特徴のある神楽のお頭の写真15点も展示。

[展示点数] 45点(写真)

●入館者数 355人

⑥ 所蔵美術作品展 かたちを「うつす」世界

会期：11/16(土)～R7.1/13(月・祝)：45日間
「うつす」という言葉から導かれた3つの「写す/移す/映す」をキーワードに美術作品を紹介。

〔展示点数〕20点(絵画、版画、立体)

●入館者数 647人

●解説リーフレット A4版 全4頁



かたちを「うつす」世界展会場風景

●作品鑑賞会

12/1(日) 担当：大野瑞穂学芸員 参加者12人

1/5(土) 講師：神田直子氏(前当館学芸員) 参加者19人

⑦ 蔵出し!!北区ゆかりの文化財展

会期：2/8(土)～5/6(火・休)

当館所蔵の市指定文化財の資料を展示・公開。ほかに区内各所にある北区ゆかりの指定文化財や登録文化財など有形・無形の文化財を写真で紹介。

〔展示点数〕63点(考古資料、古文書、歴史資料、写真)

●入館者数 652人(2/8～3/30)

●関連事業 (4月に開催)

収集・保管・調査研究

① 収蔵環境整備

本館収蔵庫の床清掃

本館収蔵庫の施設・土足禁止化に伴い、積層上下の床清掃を行った。

9/4(水) 作業者 博物館実習生6人・当館学芸員

収蔵資料のくん蒸処理・郷土資料収蔵庫内防虫防菌処理

R7.2/17～2/21 郷土資料収蔵庫内での包み込み燻蒸

薬剤：エキヒュームS(殺菌・殺虫)

R7.2/19 郷土資料収蔵庫全館 噴霧処理

薬剤：ブンガノン(殺虫)・ライセント(殺菌)混合

② 所蔵資料の整理・保管・調査研究

歴史資料・民俗資料の整理作業

担当者の指導で実習に伴い行う。

美術・書資料に関する整理作業

美術作品の台帳との照合・整理作業等

指導：神田直子氏(前当館学芸員)

収蔵彫刻作品の研磨

所蔵作品展「かたちをうつす世界」展出品作品の研磨を作者のアシスタントであった堤氏の指導により行う。

作品 高橋清《起原No.3》(1966年)

11/2(土) 指導：堤一彦氏(彫刻家・青山学院大学講師・神奈川在住)

収蔵品の写真撮影

新収蔵作品を中心に画像利用予定作品の撮影を行った。

5/15(水) 撮影者 スタジオユー 中澤和弘氏

内容 新収蔵を含む美術作品22点(書5点・絵画3点・小品14点)

作業指導：神田直子氏(前当館学芸員)

教育・普及事業

◇講演会・講座

講演会「越後の木綿をめぐる」(「葛塚稿展」関連) 再掲

講師：陳玲氏(新潟県立歴史博物館専門研究員)

6/1(土) 参加者23人



講演会「越後の木綿をめぐる」

博物館講座1「地名・町名から読む郷土のあゆみ

～身近に“史料”を求めて～

講師：本井晴信氏(元新潟県立文書館副館長)

6/9(日) 参加者32人

博物館講座2「新潟地震から60年 いま災害を考える」 再掲

講師：伊藤 健(当館館長)

6/16(土) 参加者32人

博物館講座3「じっくり見たい北区の碑(いしぶみ)」

講師：本井晴信氏(元新潟県立文書館副館長)

6/23(日) 参加者27人



博物館講座3

博物館講座4「アートを楽しむー弦巻松蔭と上田桑鳩の

書作品を中心にー」**再掲**

講師：神田直子氏（前当館学芸員）

6/30(日) 参加者27人

◇体験教室

①「葛塚縞展」関連イベント 手織り体験 **再掲**

講師：葛塚縞手織りの会

4/6・13・20・27・5/4(各土曜) 参加者29人

② 夏休み体験教室

手織り体験「オリジナルの布を作ってみよう!」

対象：小・中学生

講師：葛塚縞手織りの会

7/27(土)、8/17(土) 参加者 14人

③ 夏休み体験教室

ワラ細工体験「ナベシキを作ってみよう!」

対象：小学3年生以上

講師：成澤清子氏、当館市民ボランティア、

曾部珠世学芸員、大野瑞穂学芸員

7/28(日)、8/18(日)

参加者 77人 (7/28…30人、8/18…47人)



ワラ細工体験風景

④ 葛塚縞手織り出張実演における

「手織り体験」(特色ある区づくり事業)

会場：新潟ふるさと村ファイブワンのいね!新潟館(アピール館)

講師：葛塚縞手織りの会

8/31(土)・9/1(日)

参加者 84人(8/31…35人、9/1…49人)

⑤ 市民ボランティア企画

「牛乳パックの機織りで毛糸のコースター作り」

「いろんな紙飛行機を作ろう」

講師：当館市民ボランティア

10/14(月・祝)

参加者 35人(織物体験18人、紙飛行機づくり17人)

⑥ 北区郷土芸能フェスティバル関連イベント

「折り紙で神楽を作ろう」

「神楽のお頭をかぶってみよう」

会場：北区文化会館ホワイエ

講師：当館市民ボランティア

11/24(日)

参加者 265人 (折り紙…148人、お頭…117人)

◇ふるさと学習

学校や地域等と連携し、資料紹介や展示見学対応、出前授業を行った。

① むかしの道具コーナーの設置

R7.1/18(土)～1/29(水)(展示ホール)

釜、洗濯板など電化製品が普及する以前の生活道具を展示。新潟市内小学校3年生の社会科授業での活用のほか、一般見学にも対応。野良着着用・天秤棒担ぎの体験コーナーを設けた。

② 学校の学習利用

新潟市立葛塚東小学校5年生

総合的な学習「葛塚を食べよう!」

「福島潟の恵みをいただく昔の暮らし」のお話と映像を見た後、展示室の民具や写真で福島潟周辺の昔の暮らしなどについて説明

5/2(木) 112人

担当：曾部珠世学芸員、当館市民ボランティア5人

新潟市立葛塚東小学校6年生

総合的な学習「葛塚の良いところを見つけよう」

常設展示室他。質問への回答やヒントなど、自由見学の補助的な対応

10/10(木) 80人 対応：大森慎子学芸員

新潟市立早通南小学校4年生

「福島潟の干拓と水害について」

(社会科「福島潟の干拓」、総合的な学習の関連)

干拓の歴史についてクイズをしながら説明し、展示室で干拓の道具、潟周辺で使われた農具・漁具等を見学。ほかに総合的な学習として早通地区の水害についての説明も行った。

11/7(木) 95人 担当：曾部珠世学芸員、当館市民ボランティア6人

新潟市立葛塚東小学校4年生

社会科「福島潟の干拓」

干拓の歴史についてクイズをしながら説明。その後、展示室で干拓に使われた道具、潟周辺で使われた農具・漁具等を見学。

12/5(木)・6(金) 115人

担当：曾部珠世学芸員、当館市民ボランティア5人

新潟市立早通南小学校3年生

社会科「昔の道具と暮らし」

展示ホールで昔の道具の説明、展示室で天秤棒体験、野良着の着用体験と農具や漁具の説明。

1/23(木) 100人

担当：伊藤健館長、大野瑞穂学芸員、当館市民ボランティア5人



社会科「昔の道具と暮らし」学習の風景

新潟市立葛塚東小学校3年生

社会科「昔の道具と暮らし」

展示ホールで昔の道具の説明、展示室で天秤棒体験、野良着の着用体験と農具や漁具の説明。

1/28(火) 111人

担当：伊藤健館長、大野瑞穂学芸員、当館市民ボランティア6人

③ 地域学習対応

治安維持法国家賠償要求同盟阿賀野支部の

「木崎争議について」見学・解説

4/25(木) 10人 講師：曾部珠世学芸員

野中吟雪先生(書)と弟子の皆様

企画展示及び常設展示の弦巻松蔭コーナー見学

8/21(水) 9人

対応：神田直子氏(前当館学芸員)、大森慎子学芸員

葛塚コミュニティ福祉部

北区学習としての常設展示見学

10/2(水) 27人 担当：当館市民ボランティア4人

北区自治協議会

北区学習としての常設展示見学

10/9(水) 自治協委員10人

担当：伊藤健館長、曾部珠世学芸員、大野瑞穂学芸員

④ 講師派遣

自治会防災講座「新潟地震から60年今災害を考える」

新潟地震の記録、防災に関する講座を自治会向けに開催

主催 朝日万年青クラブ 会場：朝日町公民館

7/6(土) 40人 講師：伊藤健館長

観光庁「特別な体験」事業 新潟での新たな「湯」活用事業

通訳ガイド向け研修「福島湯周辺の地形と湯の昔の暮らしについて」

主催 公益財団法人 新潟観光コンベンション協会

会場：菱風荘「体験蔵」

8/20(火) 13人 講師：曾部珠世学芸員

新潟市立岡方第一小学校出前授業

3年生社会科「昔の道具と暮らし」

昔の暮らしについて画像を見ながら説明後、持参した民具について説明。野良着着用体験も行った。

R7.1/21(火) 14人 担当：伊藤健館長、大野瑞穂学芸員

新潟市立松浜小学校出前授業

3年生社会科「昔の道具と暮らし」

昔の暮らしについて画像を見ながら説明後、持参した民具について説明。野良着着用体験も行った。

R7.1/22(水) 73人 担当：伊藤健館長、大野瑞穂学芸員

新潟市立太夫浜小学校出前授業

3年生社会科「昔の道具と暮らし」

昔の暮らしについて画像を見ながら説明後、持参した民具について説明。野良着着用体験も行った。

R7.1/29(水) 44人 担当：伊藤健館長、大野瑞穂学芸員

新潟市立濁川小学校出前授業

3年生社会科「昔の道具と暮らし」

昔の暮らしについて画像を見ながら説明後、持参した民具について説明。野良着着用体験も行った。

R7.2/5(水) 65人 担当：伊藤健館長、大野瑞穂学芸員

新潟市立葛塚小学校出前授業

4年生社会科「福島湯の干拓」

パワーポイントを用い、干拓の歴史についてクイズをしながら説明。

R7.3/13(木) 94人 講師：曾部珠世学芸員

⑤ 他館主催事業への協力

「新潟市の小さな5つの湯 内沼湯・六郷ノ池・北上の池・金巻の池・ドンチ池 ガイドブック」への制作協力

制作：新潟市・新潟市里湯研究ネットワーク会議

協力：曾部珠世学芸員

◇博物館実習、職場体験

① 博物館実習

博物館学芸員課程履修の実習生の受け入れ

7/27~11/12のうち7日間

実習生 6人

・新潟大学3人 7/27・28、8/7・8、9/4、11/3・24

補講10/22、11/12

・他大学3人(米沢女子短期大学・大東文化大学・国士舘大学)

8/7・8・17・18・31、9/1・4

内容 博物館運営・事務の実際、資料の取扱い、事業補助、常設展示の課題と提案 他

② 職場体験

葛塚中学校2年生 5人

5/16(木)・17(金)

令和6（2024）年度のあゆみ ⑤

内容 チラシ封詰め作業、展示内容の研究、企画展・体験イベントの企画立案



中学生職場体験

◇レファレンス

市民の郷土史学習サポート、資料調査協力、歴史資料や郷土史関連図書の閲覧対応
他の博物館や大学等研究機関への調査協力

市民ボランティア

令和6年度は13人のボランティアが活動を行った。

① 展示ガイド

ゴールデンウィークなど来館者が多数訪れる時期、団体見学来館時などに当館市民ボランティアが常設展示説明。市民とのかけはしとして、親しみや理解を深める助けとなる



ガイドの様子

春のガイドウィーク

4/27(土)～29(月・祝)、5/3(金・祝)～6(月・休)

見学者 108人 ボランティア活動のべ30人

こども作品展期間中の土日祝日ガイド

9/21(土)～23(月・休)、28(土)、29(日)、

10/5(土)、6(日)、12(土)～14(月・祝)、19(土)、20(日)

見学者 173人 ボランティア活動のべ30人

団体見学・学校対応時のサポートやガイドなど

計19件 見学者 523人 ボランティア活動のべ78人

個人客へのガイド

計6件 見学者 21人 ボランティア活動のべ6人

② 体験プログラム講師

夏休み体験教室 **再掲**

ワラ細工体験「ナベシキを作ってみよう！」

7/28(日)・8/18(日)

参加者 77人 ボランティア活動のべ9人

市民ボランティア企画 **再掲**

「牛乳パックの機織りで毛糸のコースター作り」

「いろんな紙飛行機を作ろう」

10/14(月・祝)

参加者 35人 ボランティア活動5人

北区郷土芸能フェスティバル関連イベント **再掲**

「折り紙で神楽を作ろう」

「神楽のお頭をかぶってみよう」



「折り紙で神楽を作ろう」実施風景

11/24(日) 会場 北区文化会館ホワイエ

参加者 265人 ボランティア活動人数 8人

③ スキルアップ研修

常設展示ガイドのスキルアップ研修

R5年度募集のボランティアが一人でガイドできることを目標に、相互ガイドを繰り返し行うことでコツをつかみ自信を持てるよう実施した。

5/11(土)、6/8(土)、7/13(土)、8/10(土)

内容 1)先輩ガイドのデモンストレーション(5/11)

2)展示資料ガイドの実施(6/8)

3)歴史または民俗コーナーガイドの実施(7/13、8/10)

ボランティア のべ45人(5月11人、6月12人、7月10人、8月12人)

館外研修

他施設のガイドの方法やまちづくりにかかわりの深い治水の話や大河津分水について学んだ。

訪問先：潟東歴史民俗資料館、信濃川大河津資料館、にとこみえる館

10/11(金) ボランティア 8人(職員2人同行)

④ ボランティア定例会

隔月第2土曜日に実施。計画や役割分担についての話し合いや連絡調整を行った

4/13、6/8、8/10、10/12、1/18、3/8

ボランティア のべ58人

⑤ 他館ボランティアとの交流

江南区郷土資料館ボランティア

8/23(金) 常設展示ガイド、交流会

来館 江南区郷土資料館ボランティア6人、職員2人

対応 当館市民ボランティア8人、職員2人



ガイド終了後の見送り

葛塚縞手織り技術伝承（葛塚縞手織りの会）

◇手織り技術伝承活動公開

① 常設展示「暮らしを支えた手織り 葛塚縞」コーナーでの公開
常設展示中の葛塚縞コーナーで、「葛塚縞手織りの会」による手織り機の技術伝承活動を行うもの。

内容 機織り 準備（糸巻き、整経、オサ通し、フェ通し等）

毎週土曜 午後1時30分～4時

活動日数 46日（4月～R6.3月） 参加会員 のべ197人

② 葛塚縞手織り出張実演（特色ある区づくり事業）

新潟ふるさと村において、「葛塚縞手織りの会」が昔ながらのはた織り機を使った木綿布づくりを出張実演した。さらに手織工程の展示と映像上映、「手織り体験」「野良着着用体験」のコーナーを設け、様々な世代の人々に興味・関心を持っていただいた。

8/31(土)・9/1(日) 葛塚縞手織りの会 延べ10人

来場者 466人

会場：新潟ふるさと村ファイブワンいっしょ！新潟館（アピール館）



新潟ふるさと村の出張実演会場

③ 手織りの工程の映像・写真撮影

令和7年度の区づくり事業の図録作成のための映像及び写真の撮影を開始した。

12/21、1/25、3/1・15・22・29

◇手織り体験イベントの開催

「葛塚縞手織りの会」に講師を依頼し、イベントを開催して体験や展示で理解と興味関心を醸成した。

① 「葛塚縞展」関連 手織り体験 再掲

4/6・13・20・27・5/4（各土曜）

参加者 29人

② 夏休み体験教室「葛塚縞手織り体験」 再掲

7/27(土)、8/17(土) 1人45分

参加者 14人

③ 葛塚縞手織り出張実演における「手織り体験」 再掲

8/31(土)、9/1(日) 講師：葛塚縞手織りの会

参加者 84人

郷土芸能公開

① 北区の郷土芸能公演

11/3(日・祝) 会場：新潟市立葛塚東小学校 体育館

入場者数 390人

【演目(出演団体)】 計 8団体 (出演順)

長戸呂の神楽(長戸呂平成会 神楽)／大瀬柳の神楽(大瀬柳神楽保存会)／新崎伊佐弥神楽(新崎伊佐弥神楽保存会)／他門の神楽(他門神楽保存会)／新崎甚句(新崎甚句保存会)／長場の神楽(長場神楽保存会)／樽砦(新崎樽ばやし連)／竹の通りの神楽(竹の通り神楽連)

【関連企画】 北区の神楽・獅子舞の写真展 再掲

10/24(木)～11/8(金) 会場：北区郷土博物館内



他門の神楽の上演

② 北区郷土芸能フェスティバル（特色ある区づくり事業）

共催：新潟市北区文化会館

11/24(日) 会場：新潟市北区文化会館ホール

入場者数 800人

【演目(出演団体)】 計 8団体 (出演順)

木崎の神楽(木崎三柱会)／御山伊佐弥神楽(御山伊佐弥神楽保存会)／松浜太鼓(松浜太鼓保存会)／高森の神楽(高森神楽保存会)／内沼の獅子舞(内沼獅子舞保存会)／内島見の神楽(内島見神楽保存会)／正尺の神楽(正尺神楽保存会)／松浜盆踊り(松浜盆踊り太鼓保存会) 司会：遠藤麻理(ラジオパーソナリティ)

【関連企画】「神楽・獅子舞のお頭 大集結!」「樽太鼓をたたこう」「スタンプラリー」「クイズにチャレンジ」「神楽のお頭をかぶってみよう」「折紙で神楽をつくろう」「新潟市内のお頭いろいろ写真展示」

11/24(日) 会場：新潟市北区文化会館ホワイエ



御山伊佐弥神楽の上演

北区の文化財

① 公開活用

郷土芸能公演に係る郷土芸能保存団体代表者会議の開催
「北区の郷土芸能公演」、「北区郷土芸能フェスティバル」
の概要説明、各団体の意向確認
5/26(日) 会場：当館集会室

北区の郷土芸能公演 再掲 11/3(日・祝)

北区郷土芸能フェスティバル 再掲 11/24(日)

蔵出し!!北区ゆかりの文化財展 再掲
R7.2/8(土)~5/6(火・休)

文化財等説明板の修繕

3月に点検、修繕を行った。

板面修繕(説明文改訂)：2件(新井郷川治水碑、地域の中心として
活躍した原藤兵衛家の跡)

脚部塗装：4件(上記板面修繕の2件、城ノ瀧伝説地、蒸気船発着場跡)

② 保護育成

市指定天然記念物「大久保の大ケヤキ」の対応
枯れ枝等の剪定(6/12~13) に関して自治会・歴史文化課
との連絡、文化財現状変更申請関係対応 4~6月

市指定文化財「法淳寺本堂」(濁川)の対応
能登半島地震(R6 1/1発生)による棄損の修理修復に
関わる歴史文化課からの説明への同行 5/22

郷土資料収蔵庫内の防虫防菌処理及び収蔵資料のくん
蒸処理 再掲
R7.2/17~2/21

県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」の銅板のめくれに
ついての対応 12月

文化財防火デーにかかる石動神社(国登録文化財)での
消防訓練の立合い R7.1/22



文化財防火デーにおける石動神社での消防訓練の様子

特色ある区づくり事業

事業名 「北区郷土博物館 地域魅力発信事業」
期 間 令和5年4月1日~令和8年3月31日
目 的 ①葛塚縞の歴史と今日の状況について
広く市民に知ってもらう
②地域の郷土芸能の市民への理解を深め、
担い手が誇りに感じ、後継者が集う環
境を醸成する。また、郷土芸能の保存
継承を進め、区内の郷土芸能の交流によ
る区の一体感を高める。

内容 ①葛塚縞について
葛塚縞手織りの出張実演、
葛塚縞関連講演会の開催
②郷土芸能について
郷土芸能実演

令和6年度計画(2年目)

① 葛塚縞

葛塚縞関連講演会の開催 再掲
「越後の木綿をめくって」

講師：陳玲氏(新潟県立歴史博物館専門研究員)

6/1(土) 参加者23人

葛塚縞手織り出張実演・手織り体験 再掲
8/31(土)・9/1(日)

会場：新潟ふるさと村 ファイブワンいいね!新潟館(アビール館)

来場者 466人

手織り体験 参加者 84人

② 郷土芸能

北区郷土芸能フェスティバルの開催 再掲
共催 新潟市北区文化会館

11/24(日) 会場：新潟市北区文化会館ホール

入場者数 800人

【出演】 計 8団体 (P.8 参照)

【関連企画】「神楽・獅子舞のお頭 大集結!」「樽太鼓をたたこう」
「スタンプラリー」「クイズにチャレンジ」「神楽のお頭をかぶってみ
よう」「折紙で神楽をつくろう」「新潟市内のお頭いろいろ写真展
示」

同日 会場：新潟市北区文化会館ホワイエ



「神楽・獅子舞のお頭 大集結!」の様子

令和6(2024)年度 入館状況

12/28～1/3は年末年始のため休館

月別	入館者数(人)*	主 な 行 事
R6. 4月	614	常設展拡大企画 葛塚縞展 1/4～5/6
5月	908	常設展拡大企画 葛塚縞展 1/4～5/6 (計106日間 2,444人) 新潟地震から60年災害の記録をたどる写真展 5/25～6/30
6月	1,348	新潟地震から60年災害の記録をたどる写真展 5/25～6/30 (計32日間 1,744人)
7月	383	夏休み企画 書をみる弦巻松蔭と上田桑鳩の作品 7/13～8/25
8月	650	夏休み企画 書をみる弦巻松蔭と上田桑鳩の作品 7/13～8/25 (計38日間 882人)
9月	587	第2回北区こども作品展 9/21～10/20
10月	700	第2回北区こども作品展 9/21～10/20 (計26日間 956人)
11月	518	所蔵美術作品展 かたちを「うつす」世界 11/16～R7 1/13
12月	362	所蔵美術作品展 かたちを「うつす」世界 11/16～R7 1/13
R7. 1月	516	所蔵美術作品展 かたちを「うつす」世界 11/16～R7 1/13 (計45日間 648人)
2月	272	蔵出し!! 北区ゆかりの文化財展 2/8～5/6
3月	454	蔵出し!! 北区ゆかりの文化財展 2/8～5/6 (～3/31計42日間 652人)
合計	7,312	

*入館者数には館外事業の参加者数は含まない。

館外事業参加者数 合計1,999人【内訳：当館主催/郷土芸能公演(11/3) 390人、郷土芸能フェスティバル(共催：北区文化会館)(11/24) 800人、葛塚縞出張実演8/31・9/1 466人 他主催(講師派遣等)/学校関係 5校 290人、他団体等 2団体 53人】

寄贈資料紹介

【歴史・民俗資料】

長谷川 知 様(北区)……………葛塚縞木綿(白地に縞、ラベルシール付き) 2反

米沢 嘉夫 様(中央区)……………葛塚縞木綿(紺無地) 1反

【図書】

阿部 希望 様(宮城県)……………湯澤規子・伊丹一浩・藤原辰史編著『入門 食と農の人文学』(ミネルヴァ書房)

齋藤 満栄 様(東京都)……………公益財団法人日本美術院企画・発行

『再興第110回院展記念 同人たちの出世作といま-無窮をめざして-』

公益財団法人日本美術院企画『再興第110回院展記念 画を結ぶ一院展人物史』

島 吾郎 様(北区)……………島吾郎著『葛塚1マイル今昔-ある越後「在郷町」の300年』

関口 忠邦 様(北区)……………関口忠邦編著『新潟県の天産物方言集』・『新潟市北区 葛塚の話ことば』

関口 雄拓 様(北区)……………関口雄拓著『上堀田ものがたり』

鶴巻 武則 様(西区)……………新潟県民俗学会「高志路」第423・426・427・429・430・431～434号 計9冊

富井 秀正 様(中央区)……………富井秀正著『近世越後地方史の一側面』

「消えた角海浜 廃村50年 その栄華と終焉」図録編集委員会 様(西蒲区)

毒消しの道プロジェクト発行「消えた角海浜 廃村50年 その栄華と終焉」

みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト実行委員会事務局 様(中央区)

同実行委員会編集発行「みなとまち新潟の芸と風土 発掘・体験プロジェクト記録集」

八色の森の美術展実行委員会事務局 様(南魚沼市)

「八色の森の美術展2021」記録集

新潟郷土史研究会様(西区)……………新潟郷土史研究会編『郷土新潟 第64号』

新発田郷土研究会様(新発田市)……………新発田郷土研究会編「新発田郷土誌 第52号」

令和6年度、上記の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚く御礼申し上げます。

当館では、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。

北区の郷土芸能公演 11・3 新潟市立葛塚東小学校体育館にて

北区郷土芸能フェスティバル 11・23 新潟市北区文化会館にて



伝統を
受け継ぐ
2024



葛塚縞手織り出張実演 8・31 9・1 新潟ふるさと村にて

